

第143回 日商簿記検定試験 2級 一工業簿記一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

第4問〔丸数字は予想配点、合計20点〕

問1

仕掛品				(単位:円)
6/1月初有高	(② 144,000)	6/30製 品	(② 4,488,000)	
30直接材料費	(② 2,110,000)	" 月末有高	(② 144,500)	
" 直接労務費	(1,397,500)			
" 製造間接費	(② 981,000)			
	(4,632,500)			(4,632,500)

月次損益計算書			(単位:円)
売上高			9,320,000
売上原価			
月初棚卸高	560,000		
当月製品製造原価	(4,488,000)		
合 計	(5,048,000)		
月末棚卸高	(② 2,130,000)		
差 引	(2,918,000)		
原価差異	(② 139,000)	(3,057,000)	
売上総利益		(6,263,000)	
販売費及び一般管理費		1,870,000	
営業利益		(② 4,393,000)	

問2

予 算 差 異 = ② 40,000 円 (借方差異 ・ 貸方差異)
いずれかを○で囲むこと
操 業 度 差 異 = ② 99,000 円 (借方差異 ・ 貸方差異)
いずれかを○で囲むこと

第5問〔丸数字は予想配点、合計20点〕

- 問1 ④ 21,460,000 円
問2 ④ 810,400 円 (借方差異 ・ 貸方差異)
いずれかを○で囲むこと
問3 ② 345,200 円 (借方差異 ・ 貸方差異)
いずれかを○で囲むこと
問4 ② 297,200 円 (借方差異 ・ 貸方差異)
いずれかを○で囲むこと
問5 ④ 66,000 円 (借方差異 ・ 貸方差異)
いずれかを○で囲むこと
問6 ④ 42,000 円 (借方差異 ・ 貸方差異)
いずれかを○で囲むこと